

イチゴ属  
特性調査マニュアル



(第4版)

令和6年3月22日 改正

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	1	QN (* (+) G	草姿	Plant: growth habit	株全体の開張度	観察 VG (a)	1 2 3	立性 中間 開張性	upright semi-upright spreading	女峰 とちおとめ、 はるのか ひみこ	

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

株全体の開張度を評価する。

中心展開葉（第3～4展開葉位まで）の立ち具合を観察する。

目安 1：60度以上 2：45度以上60度未満 3：45度未満



1  
立性



2  
中間



3  
開張性

※審査基準の図を引用

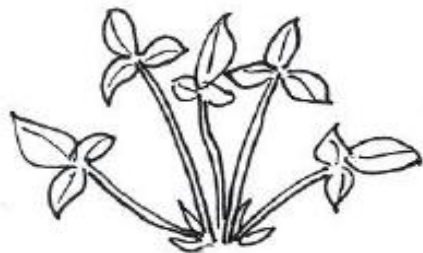
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
2	2	2	QN (+)	葉の粗密	Plant: density of foliage	株全体の葉の粗密	観 察 VG (a)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

株全体の葉の粗密を観察する。



3  
粗



5  
中



7  
密

※審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
3	3	3	QN (+)	草勢	Plant: vigor	草勢	観 察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	福羽 宝交早生 はるのか、女峰	

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

株全体の栄養成長量（草丈と株幅）を観察し、標準品種と比較して判断する。



5 中



7 強

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4		QN	分けつの多少	Plant: number of axillary bud	1株当たりの腋芽の数	観察/ 測定 VG/ MS (a)	1 2 3	少 中 多	few medium many	ダナー 女峰 芳玉	

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

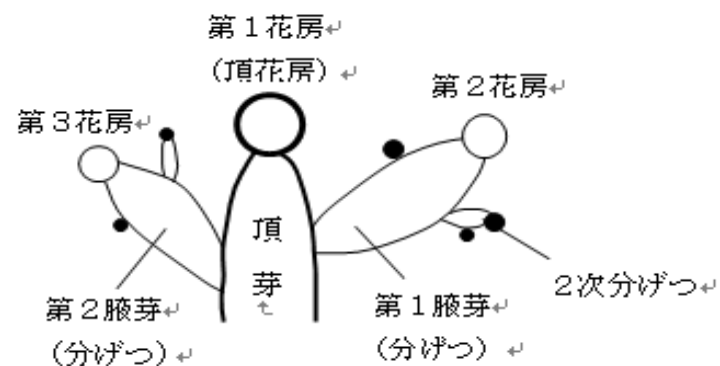
●調査方法

1株当たりの腋芽（各葉から出る葉芽）の数を計測する。

※ランナー、花房も腋芽の一種であるが、ここでは葉芽のみを数えることとする。

※実際に見ると次々に出てくる腋芽があたかも頂花房の葉に見えるので注意する。

※2次分けつが確認できるものはそれも数える。



頂芽



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	5	4	QN (*)	開花位置	Plant: position of inflorescence in relation to foliage	葉に対する第1花房の開 花位置	観 察 VG (c)	1 2 3	葉より下 葉と同水準 葉より上	beneath same level above	八千代 章姫 はるのか	

●調査時期等

花の満開時（第1果房の第1番花の着果前）に行う。

●調査方法

葉群に対する着果前の第1花房全体の開花位置により評価する。

- 1 葉より下：展開葉でほとんどの花が隠れる位置
- 2 葉と同水準：展開葉と同程度の高さに花が確認できる位置
- 3 葉より上：展開葉より上にほとんどの花が確認できる位置

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	5	QN (*)	ランナーの数	Plant: number of stolons	1株当たりのランナーの発生数	観察/ 測定 VG/ MS (b)	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	大石四季成2号 宝交早生 はるのか	

●調査時期等

別途設けた露地栽培により、一季成り品種は、収穫期の終期（西日本の場合、5月中旬～下旬）に行う。四季成り品種も同時期（西日本の場合、5月中旬～下旬）に行う。

●調査方法

施設栽培の試験とは別に露地栽培で試験を行い、露地栽培株により調査する。

ランナー発生最盛期の1株当たりの1次ランナー発生数を測定する。

※親株の株張り円からはみ出したものを数える。株張り円は株の外側に張り出した葉の外周を囲んだものであるが、長い葉が極端に外側に飛び出していたり、葉が無い部分があるために、囲んだ形が歪になる場合はその周囲の葉の状態を勘案して株張り円を想定し、株間で測定するランナーの長さがある程度一定になるようにする。階級値設定表を作成し、評価する。





V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	6	QN (+)	ランナーのアントシアニン着色の強弱	Stolon: anthocyanin coloration	ランナーのアントシアニン着色の強弱	観察 VG (b)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	とちおとめ、 はるのか 宝交早生 芳玉	選択形質

●調査時期等

別途設けた露地栽培により、一季成り品種は、収穫期の終期（西日本の場合、5月中旬～下旬）に行う。四季成り品種も同時期（西日本の場合、5月中旬～下旬）に行う。

●調査方法

施設栽培の試験とは別に露地栽培で試験を行い、露地栽培株により調査する。

ランナー発生最盛期のランナーのアントシアニンの着色状態を評価する。

自然状態で上から遠目に観察する。ランナーの地色の薄黄緑色とアントシアニン着色の割合及び濃淡で判断する。

アントシアニンの着色はランナー中央部（三等分した中央）を観察する（審査基準より）。

- 1 ほとんど地色
- 3 着色割合が半々
- 5 アントシアニン着色の割合の方が多い
- 7 ほとんど赤色のアントシアニン着色
- 9 ほとんど赤色のアントシアニン着色で色も濃い



3 弱



5 中



7 強



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	7	QN	ランナーの毛の粗密	Stolon: density of pubescence	ランナーの毛の粗密	観察 VG (b)	1 2 3	粗 中 密	sparse medium dense		選択形質

●調査時期等

別途設けた露地栽培により、一季成り品種は、収穫期の終期（西日本の場合、5月中旬～下旬）に行う。四季成り品種も同時期（西日本の場合、5月中旬～下旬）に行う。

●調査方法

施設栽培の試験とは別に露地栽培で試験を行い、露地栽培株により調査する。

ランナーの毛の粗密を観察する。

ランナー数調査と同時に調査する。

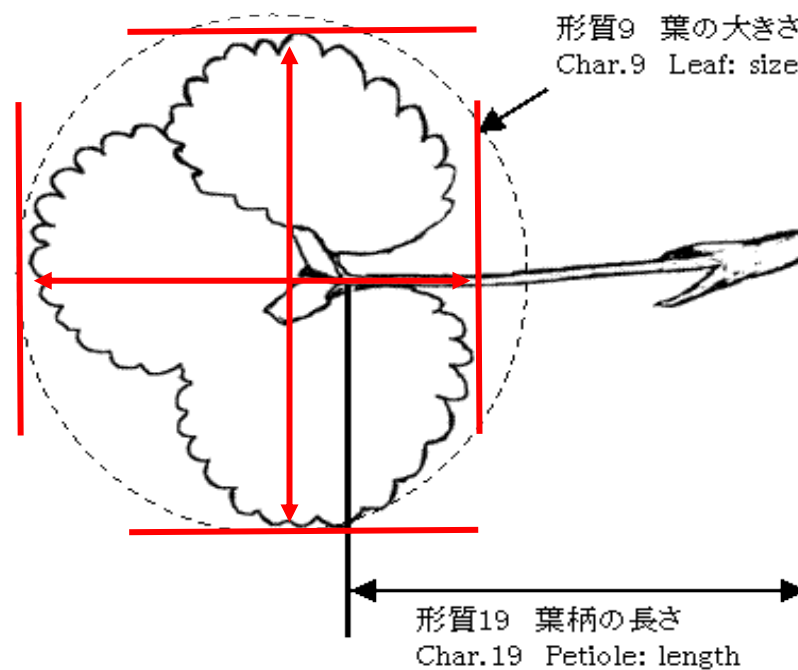
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9	9	8	QN (+)	葉の大きさ	Leaf: size	葉柄を除く小葉全体の大きさ	観察/ 測定 VG/ MG (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large		

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

十分に展開した葉の縦径と横径の積を算出する。  
葉の大きさは葉柄とたく葉を除く。



※審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10	9	PQ	葉の表面の色	Leaf: color of upper side	葉の表面の色	観察 VG (a)	1 黄緑 2 淡緑 3 緑 4 濃緑 5 青緑	yellow green light green medium green dark green blue green	ダナー とちおとめ アメリカ		

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

標準品種等を指標に評価する。

施肥量、追肥の時期で色に違いが出るので、RHS カラーチャートでの判定は行わない（参考としての記載に留める）。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	10	QN (* (+)	葉の表面の凹凸 の強弱	Leaf: blistering	葉の表面の凹凸の強弱	観察 VG (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	女峰 とちおとめ	

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

十分に展開した成葉（第3展開葉付近を目安とする）の頂小葉の葉面の凹凸の強弱を評価する。



1 無又は弱



2 中



3 強

※審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	11	QN (*)	葉の表面の光沢 の強弱	Leaf: glossiness	葉の表面の光沢の強弱	観察 VG (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	とよのか 章姫	

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

十分に展開した成葉（第3展開葉付近を目安とする）の頂小葉の葉の光沢の強弱を評価する。



2 中

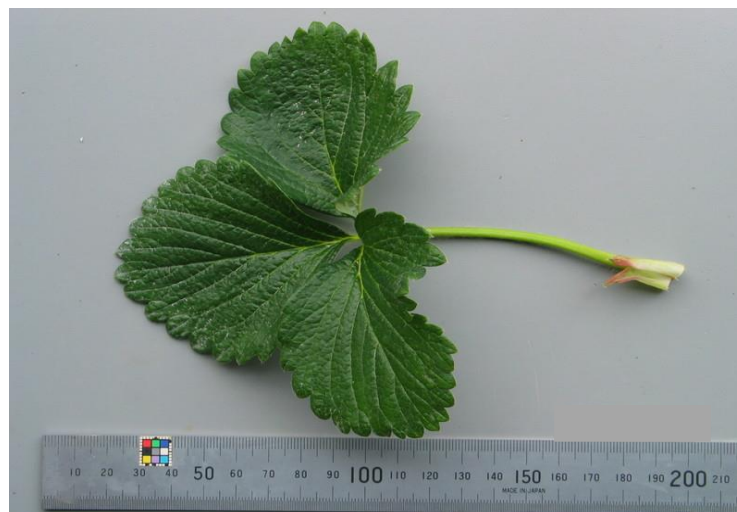
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	12	QL	葉の表面の斑の有無	Leaf: variegation	葉の表面の斑の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	とちおとめ	

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

葉の表面の斑の有無を観察する。



1 無



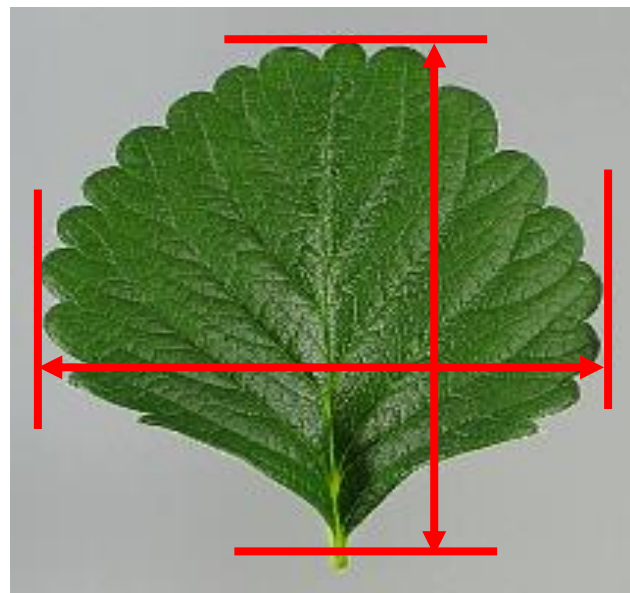
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14		QN (*)	頂小葉の大きさ	Terminal leaflet: size	頂小葉の縦径×横径	測定 cm <sup>2</sup> MS (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large	フレール 宝交早生 はるのか、女峰	

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

十分に展開した成葉（第3展開葉付近を目安とする）の頂小葉の縦径と横径の積を算出する。  
葉を伸ばして計測する。



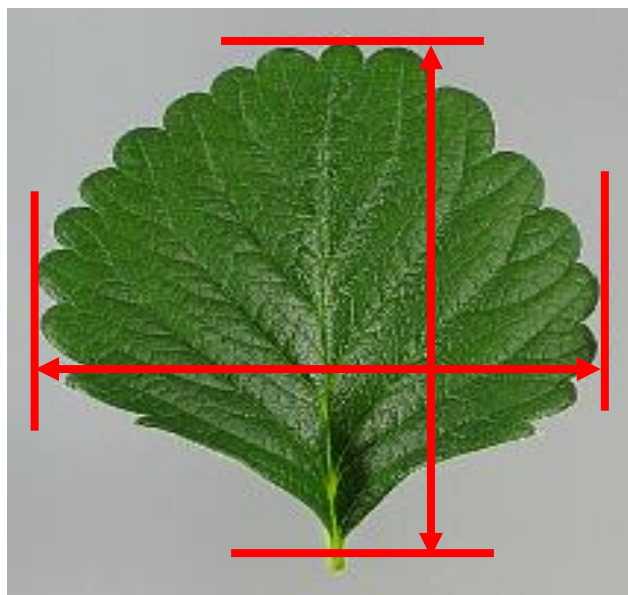
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	13	QN (*)	頂小葉の縦横比	Terminal leaflet: length in relation to width	頂小葉の縦横比	測定 比 MS (a)	1 2 3 4	横長 同等 縦長 かなり縦長	shorter equal moderately longer much longer	とちおとめ	

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

十分に展開した成葉（第3展開葉付近を目安とする）の頂小葉の縦横比を算出する。  
葉を伸ばして計測する。



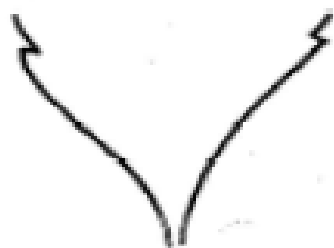
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	14	PQ (* (+)	頂小葉の基部の形	Terminal leaflet: shape of base	頂小葉の基部の形	観察 VG (a)	1 2 3	鋭角 鈍角 円形	acute obtuse rounded	とちおとめ 宝交早生	

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

十分に展開した成葉（第3展開葉付近を目安とする）の頂小葉の基部の形を評価する。



1 鋭角



2 鈍角



3 円形

※審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	17	15	PQ (+)	頂小葉の鋸歯の形	Terminal leaflet: margin	頂小葉の鋸歯の形	観察 VG (a)	1 2 3	鋸歯状 中間 鈍鋸歯状	serrate serrate to crenate crenate	堀田ワンダー 章姫 はるのか	

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

十分に展開した成葉（第3展開葉付近を目安とする）の頂小葉の鋸歯の形を評価する。

標準品種と比較し判別する。



1  
鋸歯状



2  
中間



3  
鈍鋸歯状

※審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18	18	16	QN (+)	頂小葉の横断面 の形	Terminal leaflet: shape in cross section	頂小葉の横断面の形	観 察 V G (a)	1 2 3	上に湾曲 平面 下に湾曲	concave straight convex		

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

十分に展開した成葉（第3展開葉付近を目安とする）の頂小葉中央部の横断面の形を評価する。

切り離さず自然状態で観察する。



1 上に湾曲



2 平面



3 下に湾曲

※審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	17	QN (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	堀田ワンダー 宝交早生 章姫	

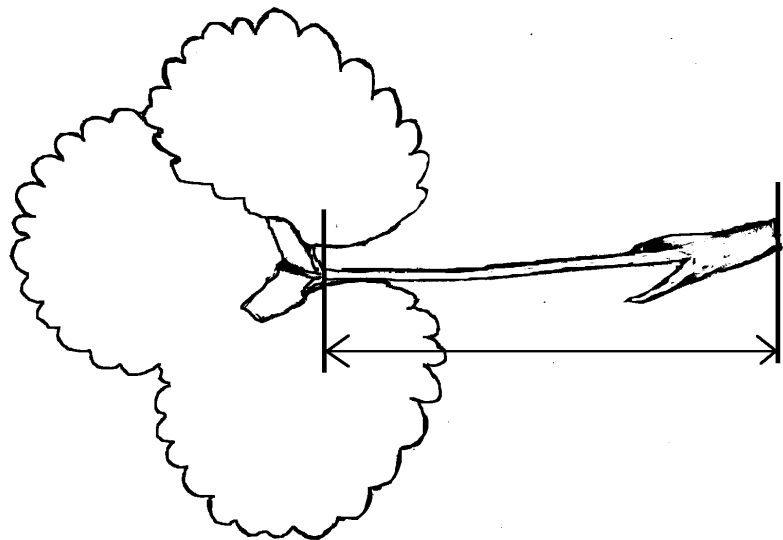
●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

十分に展開した成葉（第3展開葉付近を目安とする）の基部から小葉着生点までの長さを測定する。

葉柄を伸ばして計測する。



※審査基準の図を引用



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	18	QN (+)	葉柄の毛じの向 き	Petiole: attitude of hairs	葉柄の毛じの向き	観 察 VG (a)	1 2 3	上向き やや上向き 横向き	upwards slightly outwards horizontal	とちおとめ	

●調査時期等

収穫期の直前。概ね第1（最初の）果房の果実成熟始期頃から第1（最初の）果房収穫期の直前まで。

●調査方法

十分に展開した成葉（第3展開葉付近を目安とする）の葉柄に対する毛じの角度を評価する。

全て横向きに見えるが、全体的に上向きの傾向、やや上向きの傾向を観察し、評価する。



1

上向き



2

やや上向き



3

横向き

※審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	19	QN	たく葉のアントシアニン着色の強弱	Stipule: anthocyanin coloration	たく葉のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (b)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	章姫、とちおとめ	

●調査時期等

一季成り品種は、収穫期の終期に行う。四季成り品種は、収穫期の直前に行う。

●調査方法

たく葉のアントシアニン着色の強弱を、標準品種を指標にアントシアニン着色の割合と濃淡で総合的に評価する。



5 中

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22	22	20	QN	花の数	Inflorescence: number of flowers	1 花房あたりの花数	観 察 VG (c)	3 5 7	少 中 多	few medium many	はるのか ダナー 宝交早生	

●調査時期等  
満開時に行う。

●調査方法  
第1花房の全花数（つぼみを含む）を、標準品種を指標に観察して評価する。

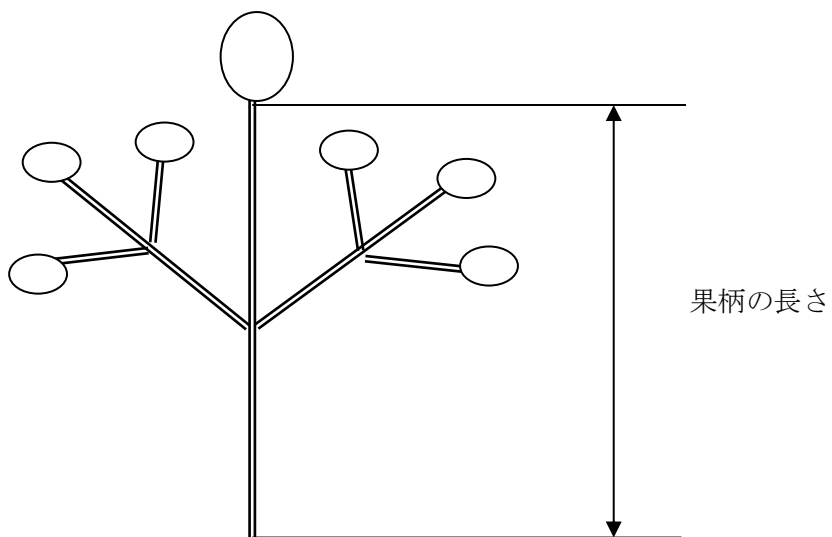
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23	23		QN	果柄の長さ	Peduncle: length	第一果房の基部から第一番果の小果柄の接合部までの長さ	観察/ 測定 cm VG/ MS (d)	3 5 7	短 中 長	short medium long	みずまる 宝交早生 はるのか	

●調査時期等

第1果房収穫期

●調査方法

第1果房の基部から第1番果の小果柄の接合部までの長さを測定する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24	24	21	QN (+)	小果柄の毛じの 向き	Pedicle: attitude of hairs	小果柄の毛じの向き	観 察 VG (d)	1 2 3	上向き やや上向き 横向き	upwards slightly outwards horizontal		

●調査時期等  
第1果房収穫期

●調査方法  
小果柄に対する毛じの角度を評価する。



1

上向き



2

やや上向き



3

横向き

※審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	22	QN	花の直径	Flower: diameter	花の直径	測定 cm MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	堀田ワンダー とちおとめ はるのか	

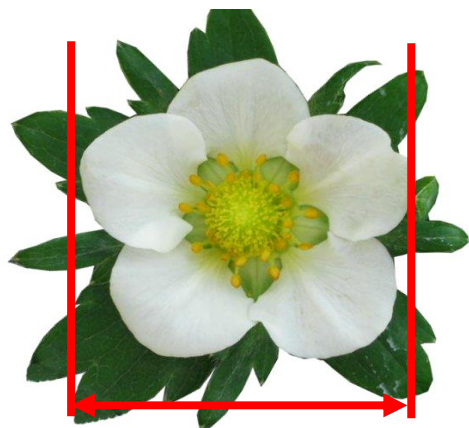
●調査時期等

満開時に行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。

●調査方法

完全に開花して最も大きく展開した花の直径を測定する。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。

開花後は、花卉の開きの程度が変化するので、下写真の開やく程度を判断の参考とする。





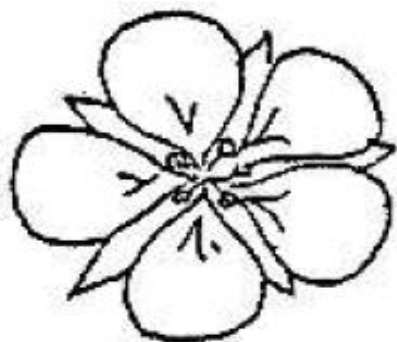
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	26	23	QN (* (+)	花卉の重なり	Flower: arrangement of petals	花卉の重なり（花卉数が5 枚のもので観察する）	観 察 VG (c)	1 2 3	離れる 接する 重なる	free touching overlapping	章 姫  と ち お と め	

●調査時期等

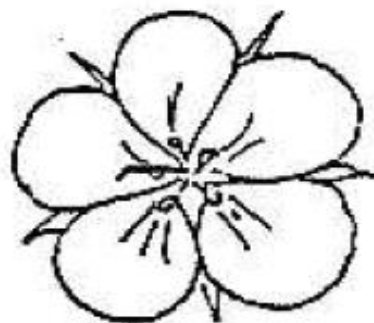
満開時に行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。

●調査方法

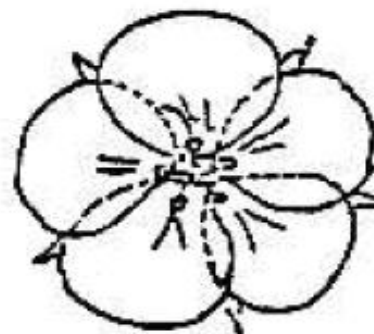
花卉数が5枚の花の花弁の重なりをを観察する。



1  
離れる



2  
接する



3  
重なる

※審査基準の図を引用

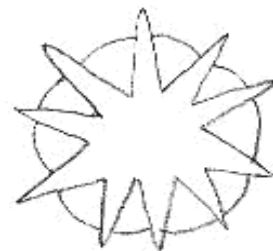
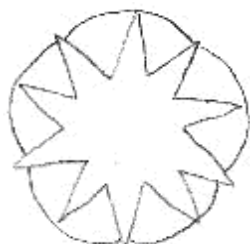
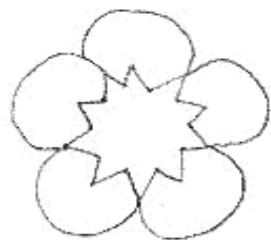
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	24	QN (* (+)	花冠に対するがく片の大きさ	Flower: size of calyx in relation to corolla	花冠に対するがく片の大きさ	観察 VG (c)	1 2 3	小 同等 大	smaller same size larger	宝交早生 とちおとめ	

●調査時期等

満開時に行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。

●調査方法

花冠に対するがく片の大きさを観察する。



※審査基準の図を引用



1 小

2 同等

3 大

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28	28	25	QL (*)	雄しべの有無	Flower: stamen	雄しべの有無	観 察 VG (c)	1 9	無 有	absent present		

●調査時期等

満開時に行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。

●調査方法

雄しべの有無について観察する。

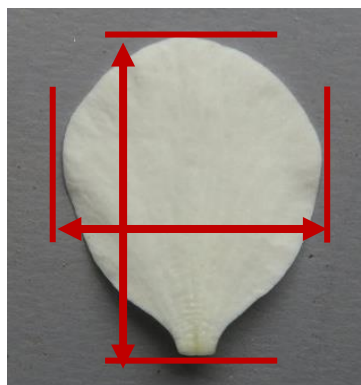
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29	29	26	QN	花卉の縦横比	Petal: length in relation to width	花卉の縦横比	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	横長 やや横長 同等 やや縦長 縦長	much shorter moderately shorter equal moderately longer much longer	とちおとめ 章姫	

●調査時期等

満開時に行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。

●調査方法

観察形質だが、第1花房開花期の第2から3番花の花弁の縦横比を算出し、評価する。  
花弁を伸ばして計測する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	30	27	PQ (* G	花卉の表面の色	Petal: color of upper side	花卉の表面の色	観察 VG (c)	1 緑白 2 白 3 桃 4 赤	greenish white white pink red	とちおとめ		

●調査時期等

満開時に行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。

●調査方法

花卉の表面の色について観察する。



1 緑白



2 白



3 桃



4 赤

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31		PQ	花卉の表面の主な色（観賞用品種に限る。）	<u>Only ornamental variety</u> : Petal: main color of upper side	花卉の表面の主な色	観察 VG (c)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS colour chart (indicate reference number)		

●調査時期等

満開時に行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。

●調査方法

花卉の表面の主な色について観察する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32	32		QN	花卉の表面基部の色の濃淡（観賞用品種に限る。）	<u>Only ornamental variety</u> : Petal: basal part coloration on the upper side	花卉表面の主な色に対する基部の色の濃淡	観察 VG (c)	1 2 3	淡い 同等 濃い	pale same dark	フレール	

●調査時期等

満開時に行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。

●調査方法

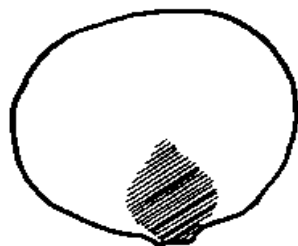


図 花卉表面の基部の位置（概ね斜線で示した部分）

※図は平成11年度種苗特性分類調査報告書 いちご形質の変更と追加より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	33		QN	花糸のアントシアニン着色の強弱（観賞用品種に限る。）	<u>Only ornamental</u> variety: Filament: anthocyanin coloration	花糸のアントシアニン着色の程度	観察 VG (c)	1 2 3 4	無 弱 中 強	absent weak medium strong	はるのか フレール	

●調査時期等

満開時に行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。

●調査方法

花糸のアントシアニン着色の濃淡を観察する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	34		QN	花柱のアントシアニン着色の強弱（観賞用品種に限る。）	<u>Only ornamental variety</u> : Style: anthocyanin coloration	花柱のアントシアニン着色の程度	観察 VG (c)	1 2 3 4	無 弱 中 強	absent weak medium strong	はるのか フレール	

●調査時期等

満開時に行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。

●調査方法

花柱のアントシアニン着色の濃淡を観察する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
35	35	29	QN (* (+) G	果実の大きさ	Fruit: size	果実の大きさ	測定 cm <sup>3</sup> 又は g MS (d)	1 極小 3 小 5 中 7 大 9 極大	very small small medium large very large	アメリカ 宝交早生 とちおとめ		

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

果実の大きさを測定する。

果実の大きさは長さ、高さ及び厚さで判断する。なお、従来から使用してきた重さを指標にすることもできる（審査基準より）。

栽培試験では重さ（g）の測定により特性評価を行う。

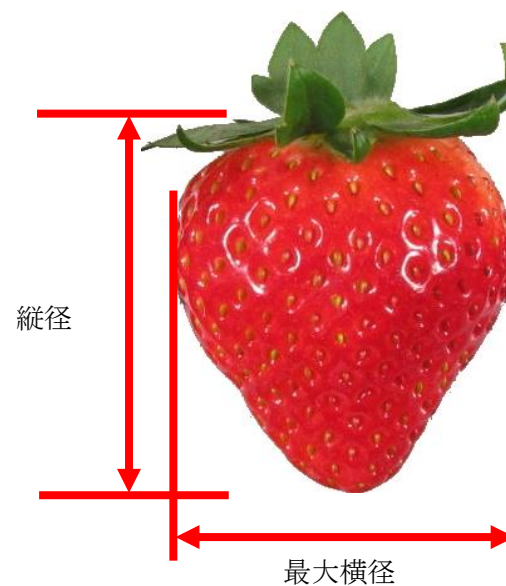
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36	36	28	QN (*)	果実の縦横比	Fruit: length in relation to width	果実の縦横比	測定 比 MS (d)	1 かなり横長 2 横長 3 同等 4 縦長 5 かなり縦長	much shorter moderately shorter equal moderately longer much longer	とちおとめ 章姫		

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

正常果の縦径と横径の比を算出する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	37	30	PQ (*) (+) G	果実の形	Fruit: shape	果実の形	観 察 VG (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	じん臓形 円錐形 心臓形 卵円形 円筒形 ひし形 扁球形 球形 楔形	reniform conical cordate ovoid cylindrical rhomboid obolid globose wedged	とちおとめ       千代田 はるのか	

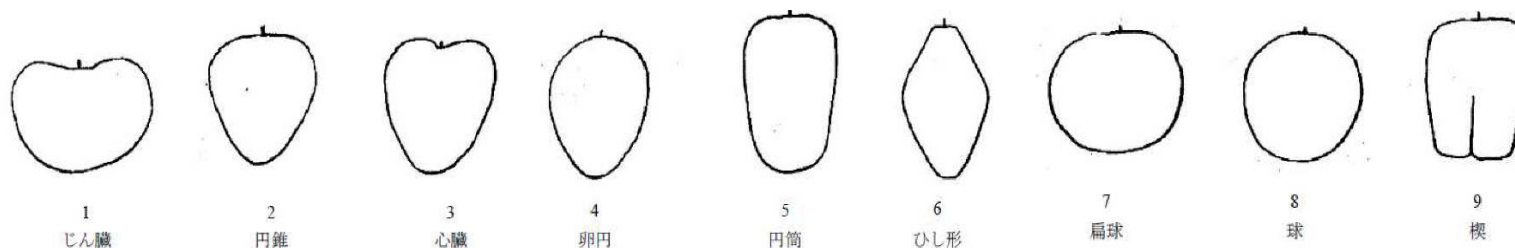
●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

正常果の幅広面を縦割りして判定する。

審査基準の図のどれに近いかで特性を評価する。



※審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
38	38	31	QN	第一番果と第二番果の果形の差	Fruit: difference in shape of terminal and other fruits	第1番果と第2番果の果形の差	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極小 小 中 大 極大	none or very slight slight moderate large very large	章姫 とちおとめ ダナー	

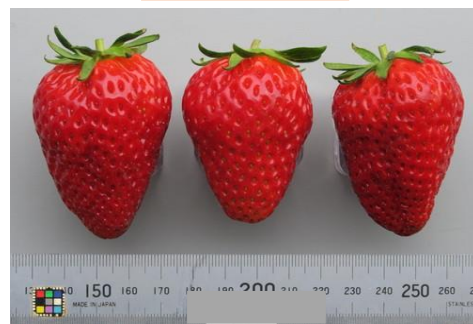
●調査時期等

第一番果の完熟期及び第二番果の完熟期

●調査方法

乱形果を含め、第1番果と第2番果の果形の差を観察する。

3 小



第1番果



第2番果

5 中



第1番果



第2番果

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	39	32	PQ (* G	果皮の色	Fruit: color	果皮の主な色	観 察 V G (d)	1 2 3 4 5 6 7 8	黄白 桃白 淡橙 橙 橙赤 赤 濃赤 暗赤	whitish yellow pinkish white light orange medium orange orange red medium red dark red blackish red	和田初こい  章姫 とちおとめ シースケープ	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

果実の中央部を調査する。

評価の参考とするため、RHS カラーチャートによる調査を行い、同一のカラーチャート番号が別々の評価とならないよう整合を確認する。



2 桃白



5 橙赤



6 赤



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
40	40	33	QN (+)	果皮の着色のむらの強弱	Fruit: evenness of color	果皮の着色のむらの有無及び強弱（がく部に近い露出部分の着色の難易を含む。）	観察 VG (d)	1 2 3	無又は極弱 弱 強	even or very slightly uneven slightly uneven strongly uneven	章姫	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

果皮の着色のむらの有無及び強弱（がく部に近い露出部分の着色の難易を含む）を観察する。



※審査基準の図を引用

1 無又は極弱

2 弱

3 強

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
41	41	34	QN	果実の光沢の強弱	Fruit: glossiness	果実の光沢の強弱	観察 VG (d)	1 2 3	弱 中 強	weak medium strong	はるのか 宝交早生 とちおとめ、女峰	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

供試品種を全て並べ、標準品種を指標に光沢の強弱を観察する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
42	42	35	QN (+)	果実の表面の凹凸の強弱	Fruit: evenness of surface	果実の表面の凹凸の強弱	観察 VG (d)	1 2 3	無又は極弱 弱 強	even or very slightly uneven slightly uneven strongly uneven	章姫、とちおとめ	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

果実の表面の凹凸の強弱を観察する。



1 無又は極弱



2 弱



3 強

※審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
43	43	36	QN (+)	果実の無種子帯	Fruit: width of band without achenes	果実の無種子帯	観察 VG (d)	1 3 5 7 9	無又は極狭 狭 中 広 極広	absent or very narrow narrow medium broad very broad	章姫、とちおとめ 女峰	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

果実の長さに対する無種子帯の長さの割合で判断する。  
がくの付け根のそう果の無い部分の割合を評価する。



1  
無又は極狭

3  
狭

5  
中

7  
広

9  
極広

※審査基準の図を引用

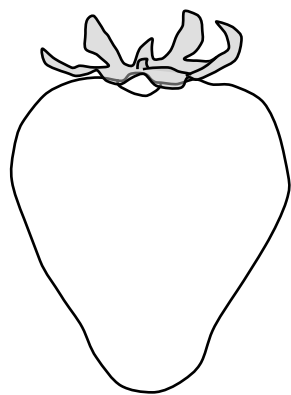
V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	44		QL (+)	果実のネックの 有無	Fruit: neck	果実のネックの有無	観察 VG (d)	1 9	無 有	absent present	とちおとめ アロマ	

●調査時期等

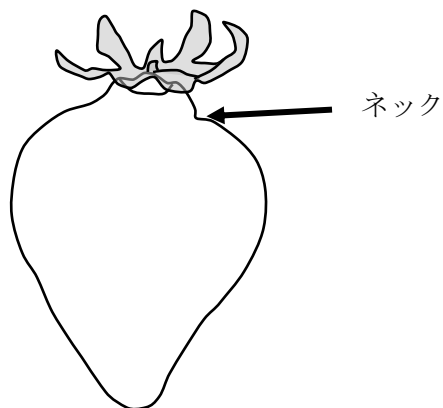
果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

がく部から垂直に無種子帯が伸びている部分があればネック有りと評価する。



1 無



9 有

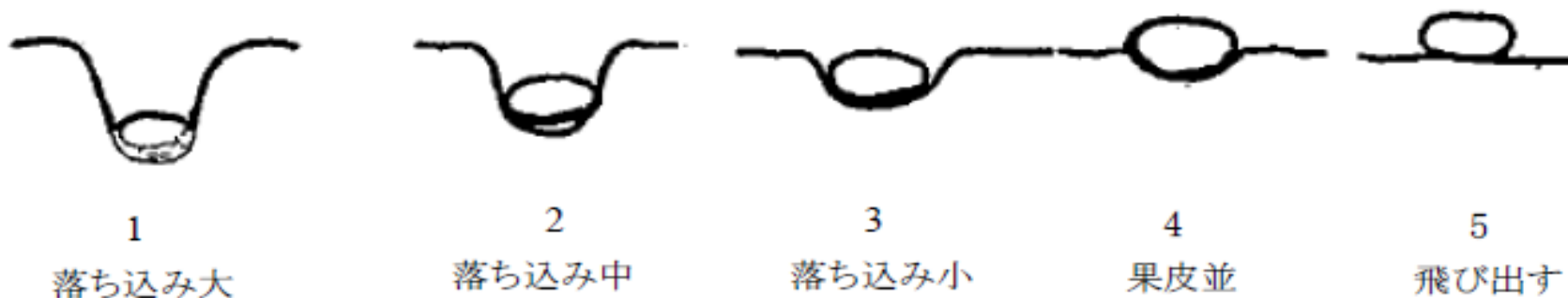
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
45	45	37	QN (* (+)	そう果の落ち込 み	Fruit: position of achenes	そう果の落ち込み	観 察 V G (d)	1 2 3 4 5	落ち込み大 落ち込み中 落ち込み小 果皮並 飛び出す	very deep below surface deep below surface below surface level with surface above surface	ひみこ 宝交早生、 とちおとめ はるのか 福羽	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

果皮表面に対するそう果の位置を観察する。



※審査基準の図を引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
46	46		QN	そう果の密度	Fruit: density of achenes	果実中央部のそう果の密 度	観察 VG (d)	1 2 3	粗 中 密	sparse medium dense	女峰	

●調査時期等

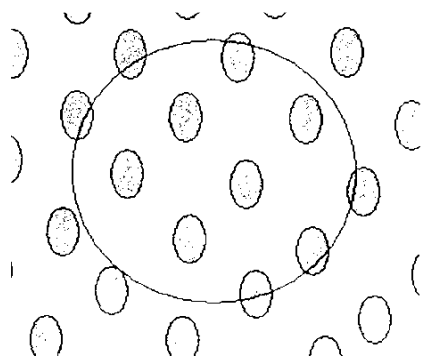
果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

観察形質だが、果実中央部の直径1 cm 円内のそう果数を測定する。

直径1 cm の円内に半分以上が入るものを1個に数える。

下記図の場合、全体が円内に入るもの5個、半分以上が入るもの3個、 $5+3=8$ 個になる。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
47	47		QN	そう果のアントシアニン着色の強弱	Fruit: anthocyanin coloration of achenes	果実中央部のそう果の着色状況	観察 VG (d)	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	宝交早生 はるのか 女峰 福羽	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

果実中央部のそう果のアントシアニンの着色状態を評価する。  
果実中央部のうち、濃いところを観察する。



2 弱



3 中



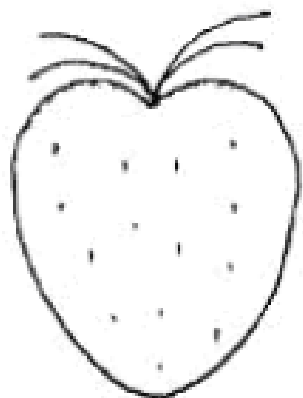
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48	48	38	QN (+)	果実のがくの着 生位置	Fruit: position of calyx attachment	果実のがくが着生してい る部分の状態	観察 VG (d)	1 2 3	陥入 平 隆起	inserted level with fruit raised	とちおとめ	

●調査時期等

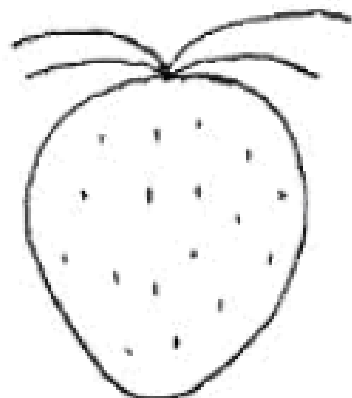
果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

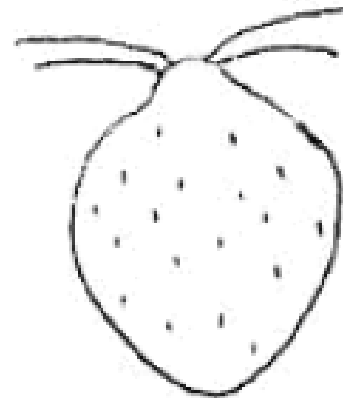
果実のがくが着生している部分の状態を観察する。



1 陥入



2 平



3 隆起

※審査基準の図を引用

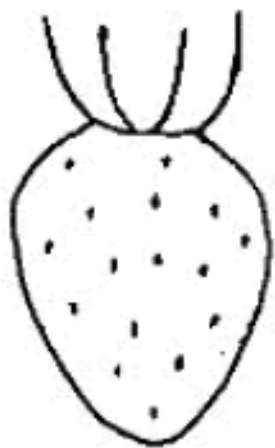
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
49	49	39	QN (+)	果実のがく片の 付き方	Fruit: attitude of sepals	果実のがく片の果実基部 に対する向き	観 察 V G (d)	1 2 3	上向き 水平 下向き	upwards outwards downwards	とちおとめ	

●調査時期等

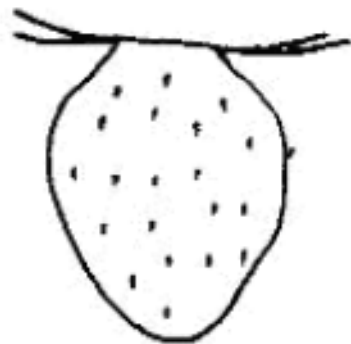
果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

果実のがく片の果実基部に対する向きを観察する。



1 上向き



2 水平



3 下向き

※審査基準の図を引用

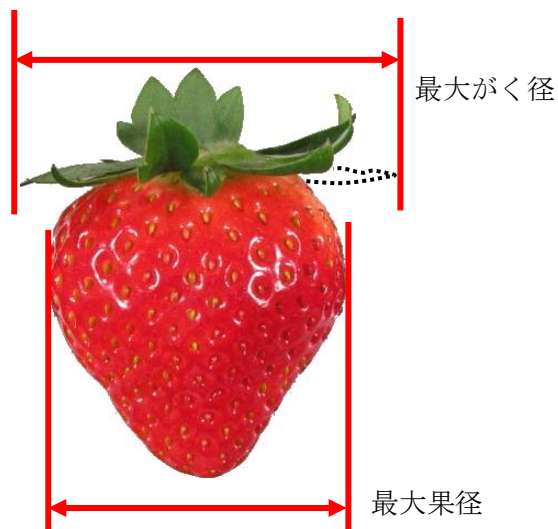
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
50	50	40	QN (+)	果径に対するが くの大きさ	Fruit: diameter of calyx in relation to diameter of fruit	果径に対するがくの大き さ	観 察 VG (d)	1 小 2 やや小 3 同等 4 やや大 5 大	much smaller slightly smaller same size slightly larger much larger	八千代 章姫 とちおとめ、女峰		

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

最大果径と最大がく径を比較する。がくが曲がっている場合は引き伸ばして観察する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
51	51	41	QN	果実からのへた 離れの難易	Fruit: adherence of calyx	果実からのへた離れの難 易	観察 VG (d)	3 5 7	易 中 難	weak medium strong	章姫	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

果実からのへた離れの難易を評価する。

がく片と果柄を持って引っ張り、容易に取れるようであれば3（易）。

果実を傷めずねじって取れるようであれば5（中）。

ねじって取れるが果実が傷む程度であれば7（難）。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
52	52	42	QN	果実の硬さ	Fruit: firmness	果実の硬さ	観察/ 測定 VG/ MS (d)	1 3 5 7 9	極軟 軟 中 硬 極硬	very soft soft medium firm very firm	宝交早生 章姫 女峰 とちおとめ	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

同一熟度の果実で硬度計を用いて果実中央部を測定し、その測定値を記載する。  
報告書には使用した硬度計の名称を記載する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
53	53	43	PQ (+) G	果肉の色	Fruit: color of flesh (excluding core)	果肉の色	観 察 V G (d)	1 2 3 4 5 6	白 淡桃 橙赤 淡赤 赤 濃赤	whitish light pink orange red light red medium red dark red	はるのか とちおとめ	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

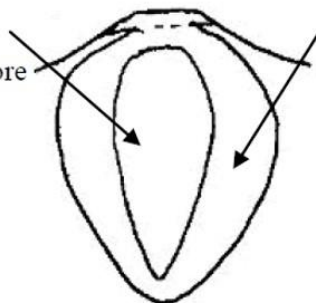
●調査方法

果心を除いた果肉の色を評価する。

評価の参考とするため、RHS カラーチャートによる調査を行い、同一のカラーチャート番号が別々の評価とならないよう整合を確認する。

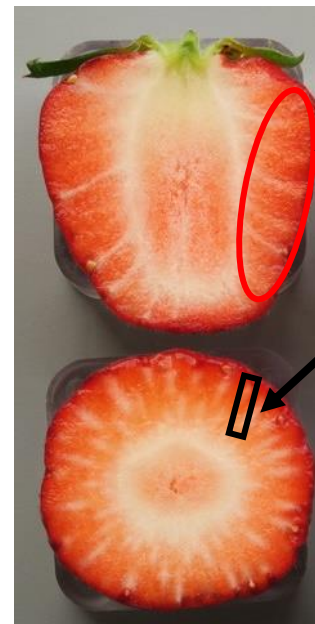
形質54 果心の色

Char.54 Fruit: color of core



形質53 果肉の色

Char.53 Fruit: color of flesh (excluding core)



この部分を観察

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
54	54	44	PQ (+)	果心の色	Fruit: color of core	果心の色	観察 VG (d)	1 2 3	白 淡赤 赤	white light red medium red	章姫 はるのか とちおとめ	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

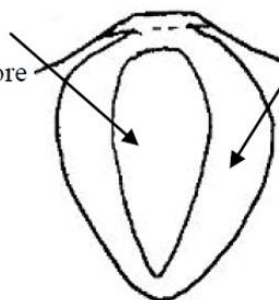
●調査方法

果実中央部を縦切断したときの果心の色を評価する。

評価の参考とするため、RHS カラーチャートによる調査を行い、同一のカラーチャート番号が別々の評価とならないよう整合を確認する。

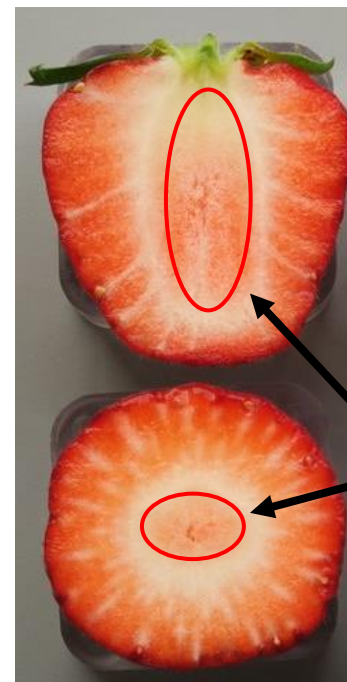
形質54 果心の色

Char.54 Fruit: color of core



形質53 果肉の色

Char.53 Fruit: color of flesh (excluding core)



この部分を観察

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
55	55	45	QN	果実の空洞	Fruit: cavity	果実の空洞	観察 VG (d)	1 2 3	無又は小 中 大	absent or small medium large	とちおとめ はるのか 八千代	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。第1果房の第2から3番果の完熟果の形が乱れる場合、第1果房収穫期中であれば、第2花房の第2から3番果の完熟果を用いて調査することが出来る。

●調査方法

果実の大きさに対する空洞の大きさ（割合）を評価する。



1 無又は小



2 中



3 大



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
56	56	46	QN	開花始期	Time of beginning of flowering	50%以上の供試株の第一 花房の第一番花が開花し た日の早晩	測定 月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	章姫 宝交早生 八千代	

●調査時期等  
開花始期

●調査方法  
一季成り栽培の場合は、供試株毎に、1番花の開花日を記録し、50%以上の供試株の第1花房の第1番花が開花した日の早晩により評価する。  
四季成り栽培の場合は、花芽摘み時期以降において、供試株毎に、1番花の開花日を記録し、50%以上の供試株の最初に発生した花房の第1番花が開花した日の早晩により評価する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
57	57	47	QN (+)	果実の成熟期	Time of beginning of fruit ripening	50%以上の供試株の第一 花房の第一番果が完熟し た日の早晚	測定 月日 MG	1 3 5 7 9	極早 早 中 晩 極晩	very early early medium late very late	はるのか とちおとめ、女峰 ダナー 八千代	

●調査時期等  
果実の成熟期

●調査方法  
一季成り栽培の場合は、供試株毎に、1番果の収穫時に、収穫日を記録し、50%以上の供試株の第1花房の第1番果が完熟した日の早晚により評価する。  
四季成り栽培の場合は、花芽摘み時期以降において、供試株毎に、1番果の収穫時に、収穫日を記録し、50%以上の供試株の最初に発生した花房の第1番果が完熟した日の早晚により評価する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
58	58	48	PQ (* (+ G	季性	Type of bearing	開花結実の習性	観 察 VG	1 2 3 4	一季成り 時々二季成り 二季成り 四季成り	not remontant partially remontant fully remontant day neutral	とちおとめ   みよし	

●調査時期等

●調査方法

四季成り栽培型（四季成り）による栽培試験においては、気温 25℃（雲仙農場では夏至の頃）を目安に6月中旬より電照処理を行う。17時から7時まで点灯する（日の入り 30 分前点灯、日の出 30 分後消灯）。

四季成り品種の標準品種「みよし」を指標とする。

電照期間中、四季成り性の標準と同程度の開花の連続性が見られた場合を四季成り、高温期に開花が停止し温度の低下とともに再び開花した場合を二季成りと判断する。

- ・一季成り：一年のうち一度だけ開花結実する。
- ・時々二季成り：一年のうち二度開花結実することはできるが、環境による影響を強く受ける。
- ・二季成り：一年のうち二度開花結実することができ、環境による影響をあまり受けない。
- ・四季成り：連続的に開花結実することができる。花成に日長の影響を受けない。したがって、ランナーを観察する際、ランナーの生育と同時に、子株の開花結実が見られる。

（審査基準の説明より）

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
59	59		QN	可溶性固形物含量	Fruit: soluble solids content	完熟果の Brix 値	測定 MS (d)	3 5 7	低 中 高	low medium high	千代田 ひみこ はるのか	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。

●調査方法

糖度計を使用して完熟果の Brix 値を測定する。  
報告書には使用した糖度計の名称を記載する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
60	60		QN	酸度	Fruit: acidity	完熟果のクエン酸含量	測定 % MS (d)	3 5 7	低 中 高	low medium high	芳玉 ダナー 千代田	

●調査時期等

果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。

●調査方法

酸度計を使用して完熟果の酸度（%）を測定する。

報告書には使用した酸度計の名称を記載する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
61	61		QN (+)	休眠性	Dormant period	平均気温 10℃頃の株のわ い化程度	観 察 V G	1 3 5 7 9	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	はるのか 八千代 宝交早生 ダナー	選択形質

●調査時期等

春の平均気温 10℃頃（わい化（ロゼット）状態を脱し、葉柄が伸長して立ってくる時期）。

●調査方法

調査地域により時期に違いはあるが、ランナー調査ほ場で調査する（調査を行う場合は、施設栽培の試験とは別に露地栽培で試験を行うこととする）。標準品種と比較する。



白円内のように葉柄が伸長し始めた時を休眠明けとする。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
62	62		QN (+)	炭そ病抵抗性	Resistance to <i>Colletotrichum fragariae</i>	<i>Colletotrichum fragariae</i> による炭そ病に対する 抵抗性	観察 VG	1 2 3	罹病性 中度抵抗性 高度抵抗性	susceptible moderately resistant highly resistant	芳玉、女峰 ダナー 宝交早生	選択形質

●調査時期等

●調査方法

特殊検定項目。

※試験方法

- 1 病原体の維持 培地：PSA（ジャガイモ・シュウクロース寒天）培地
- 2 接種源の調整 培地：PS（ジャガイモ・シュウクロース）培地、培養条件：28℃で10日間振とう（110rpm）、菌濃度：ガーゼでろ過し孢子濃度を $5 \times 10^5$
- 3 植物の育成 無菌の用土をつめた5号ポリポットに発根苗を植え3～5葉が展開した健全な苗を準備する。
- 4 接種 供試苗に調整した孢子懸濁液を株全体から液がしたたる程度（10ml）にハンドスプレーで噴霧接種する 1区15株×2反復
- 5 接種後の管理 接種株は25～30℃の温度で飽和湿度を保って2日間管理する。3日目以降は直射日光の当たらない所で湿度は昼間60%、夜間は飽和湿度に設定する。
- 6 試験期間 3週間（接種から最終判定まで）
- 7 発病調査  
発病指数を算出し標準品種と比較して抵抗性を判定する。  
発病評点  
5 枯死  
4 急性萎ちょうの発生、葉柄の1/2以上が枯死  
3 葉柄の2/3以上に病斑が見られ、葉柄の1/2未満が枯死  
2 葉柄の1/3以上1/2未満に病斑が見られる  
1 葉柄の1/3未満に病斑が見られる  
0 無病徴  
発病指数 =  $(\sum (\text{発病評点} \times \text{発病程度別の株数}) / (\text{調査株数} \times 5)) \times 100$
- 8 標準品種  
罹病性：芳玉、女峰、紅寿  
やや抵抗性：はるのか  
高抵抗性：宝交早生

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
63	63		QN (+)	萎黄病抵抗性	Resistance to <i>Fusarium</i> <i>oxysporum</i> f. sp. <i>fragariae</i>	<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>fragariae</i> による萎黄 病に対する抵抗性	観察 VG	1 2 3	罹病性 中度抵抗性 高度抵抗性	susceptible moderately resistant highly resistant	宝交早生 はるのか 芳玉	選択形質

●調査時期等

●調査方法

特殊検定項目。

※試験方法

- 1 病原体の維持 培地：PSA（ジャガイモ・シュークロース寒天）培地
- 2 接種源の調整 培地：PS（ジャガイモ・シュークロース）培地、培養条件：28℃で10日間振とう（110rpm）
- 3 植物の育成 育成は通常の方法で行い、本葉が3枚程度展開している健全な苗を準備する。
- 4 接種 消毒したプラスチック製箱に接種源を注ぐ（深さ5mm）。供試する苗を掘り上げて余分な土を落とし、根を接種源に10分間浸漬して浸根接種する。接種した苗は殺菌した育苗用培土を入れたポリポットに移植する。 1区15株×2反復
- 5 接種後の管理 接種株は25～30℃の温度で飽和湿度を保って2日間管理する。3日目以降は直射日光の当たらない所で湿度は昼間60%、夜間は飽和湿度に設定する。
- 6 試験期間 50日
- 7 発病調査  
発病指数を算出し標準品種と比較して抵抗性を判定する。  
発病評点  
4 枯死  
3 病徴が著しく枯れ始める。  
2 小葉が相称でないなどの病徴を示す葉が3枚以上ある。  
1 小葉が相称でないなどの病徴を示す葉が1～2枚見られる。  
0 無病徴  
発病指数 =  $(\sum (\text{発病評点} \times \text{発病程度別の株数}) / (\text{調査株数} \times 4)) \times 100$
- 8 標準品種  
罹病性：宝交早生  
やや抵抗性：はるのか  
高抵抗性：芳玉